

伊達市立伊達中学校 第1回学校運営協議会報告

- 1 実施日時 平成29年6月13日(火) 18:30~19:45
- 2 会場 伊達市立伊達中学校 多目的室
- 3 出席者 12名(委員10名 事務局2名)
- 4 協議内容

(1) 統合後の学校・生徒について(説明)

○スクールバスについて 45名利用

登下校2ルート体制で運行(乗車時間は約30分)

休日は1ルート体制で運行(乗車時間は約45分)

バスの乗車態度については特に問題なし。

乗車前の国道横断(横断歩道のないところ)での指導があった。

部活動の活動時間による待ち時間が多いことが課題。

○部活動について 全体加入率 90%(文化部も含めて)

例年より加入率は高い。

達南地区の加入生徒も90%

バドミントン部新設(達南地区からも〇名ほど入部)

○いじめ・不登校について 長欠生徒5月 〇名

昨年の同時期よりは少し多いが、学級増を考えると、統合による増とは言えない。

○いじめ調査について 現在、いじめアンケートの集計中。6・9・12・2月に実施

○3年生修学旅行について 昨年度の交流の成果もあり、困ることはなかった。

〇名の生徒も満足していると聞いている。

○1年生見学旅行について 大変立派であった。

○2年生宿泊研修について 現在準備中。

○中体連、運動会に向けて現在、動いている最中である。

質問 → 長欠生徒の心のケアは。

回答 → 担任の家庭訪問、学年団の関わり、フェニックスへの登校、スクールカウンセラーの活用(本人、保護者)等で対応している。

質問 → 対応する先生方の心のケアは。

回答 → 一人で抱え込まないように、学年内での情報交流、組織的な対応を心掛けている。

質問 → スクールバス運行について。

回答 → 学校として、4月1日(土)に始発から校長、教頭にて乗車指導。準備登校の際も先生方で乗車指導を行う。慣れてはきたが、今後も乗車指導は行っていく予定。PTAの手伝いはなし。

質問 → 長欠の学年内訳は。(中1ギャップ等、学年によって対応は変わってくると思うので。)

回答 → 1年生は小学校からの延長〇名、2・3年生は昨年度からの継続生徒

が多く同程度数。

質問 → 不登校の要因は把握しているか。

回答 → 色々と調べる中で、原因が不明なこともある。これという理由を特定できない不登校があり、指導・対応が難しい場合もある。

質問 → 継続して対応しているか。

回答 → している。指導が継続するよう、様々なことを考え、担任、クラス替え、編成等も行っている。

説明 → 起立性調節障害の生徒は、朝が苦手であるが、多少遅れてでも登校できる生徒がいる。また、病欠だが不登校の要素を含む可能性がある生徒もいる。学年団、指導部、管理職で状態を確認し、対応を検討している。家庭訪問のほか、場合によっては夕方の登校を促すなど、働きかけを行っている。どの学年も情報交換をしながら、担任一人に任せず、まとまって対応している。

質問 → 部活動未加入の10%の理由は。

回答 → 習い事、不登校など様々な要因がある。

(2) 今年度の学校運営協議会の取組について（資料に基づき提案内容を説明）

- ・生徒、教職員に対しても、学校運営協議会の活動を理解してもらえる機会となるのではないか。
- ・学校運営協議会としての活動が見えるように、今後はHP以外に学校運営協議会だより等でも広報活動を行っていく。
- 提案内容が承認される。
- 各活動・事業の推進については、別途、会長・副会長と相談しながら具体的な計画をし、学校から案内を出しながら確認していく。

(3) 平成29年度 会議予定

- ・第2回 9月（学校祭 9/22 終了以降） 学校・生徒の様子、学運協取組の点検
- ・第3回 12月中旬 学校・生徒の様子、学運協取組の点検、学校評価
- ・第4回 2月中旬 新年度経営方針等

以上